

# 記載例(賃借権(借地権)の売買)

## 土地売買等届出書

年 月 日

あて先 川崎市長

権利取得者(譲受人)

住所 〒 210-8577

川崎市川崎区宮本町1番地

氏名 (株)〇〇商事  
代表取締役 川崎 太郎

(担当者) 〇〇部〇〇課 高津 二郎

電話 044-200-xxxx

法人の場合は、担当者の所属・氏名・連絡先を記載してください。

住所 〒 □□□-□□□□

譲受人が複数の場合は、連名で届け出ることが必要です。(3人以上の場合には、別紙に住所・氏名を記載したものを併せて提出してください。)

市の窓口へ提出する日(「元号〇〇年〇〇月〇〇日」)を記載

- |                          |   |       |
|--------------------------|---|-------|
| ★                        | 1 | 不動産業  |
| <input type="checkbox"/> | 2 | 建設業   |
| <input type="checkbox"/> | 3 | 金融保険業 |
| <input type="checkbox"/> | 4 | 製造業   |
| <input type="checkbox"/> | 5 | 商業    |
| <input type="checkbox"/> | 6 | 運輸業   |
| <input type="checkbox"/> | 7 | その他   |

国土利用計画法第23条第1項の規定に基づき、土地に関する  所有権 (  地上権 ・  賃借権 ・  その他 ) の  移転 (  設定 ) をする契約の締結について、次のとおり届け出ます。

契約の相手方等	契約の相手方(譲渡人)の住所	氏名	契約締結年月日
に関する事項	〒〇〇〇-〇〇〇〇 <span style="color: red;">〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇〇番地</span>	大山 五郎	〇 〇 〇 〇 〇 〇

譲渡人が複数の場合はセルを挿入してください。

〇土地の所在・地番の代表的な1筆を記載してください。  
〇2筆以上の場合は、「外〇筆」も記載してください。

該当する箇所にチェック

契約日(「〇〇年〇〇月〇〇日」(和暦))を記載

実測を行っていない場合は空欄

住居表示がある場合には記載してください。

すべての筆の合計(この記載例では計10筆分)を記載してください。

土地に関する事項	番号	所 在		地 目		面 積		
		登記簿	簿 地 番	住 居 表 示	登記簿	現 況	登記簿 (㎡)	実 測 (㎡)
		区名及び町名	地 番					
	1	川崎 区〇〇町〇丁目	100-1	川崎区〇〇町〇丁目〇-〇	宅 地	宅 地	16,000.15	16,100.10
	2							
	3							
	計	10筆	外9筆				計19,365.72㎡	計19,466.95㎡
番号	利用の現況	届 出 に 係 る 権 利 以 外 の 権 利						
		所 有 権			所 有 権 以 外 の 権 利			
		所有者の住所	所有者の氏名	種 別	内 容	権利者の住所	権利者の氏名	
1 2 3	住 宅	幸区〇〇町〇丁目〇-〇	中原 三郎	地役権		〇〇市△△町〇丁目〇-〇	甲野 乙郎	

土地所有者の住所・氏名を記載してください。

取引後も存続する権利(地役権等)が設定されている場合には、その内容を記載してください。(特になければ「該当なし」)

土地に存する事項	番号	種類	概要	移 転 又 は 設 定 に 係 る 権 利 以 外 の 権 利						用途地域	
				移 転 又 は 設 定 に 係 る 権 利			所 有 権 以 外 の 権 利			準工業地域	
				種 別	内 容	所有者の住所	所有者の氏名	種 別	内 容	権利者の住所	権利者の氏名
	1 2 3	住 宅	鉄筋コンクリート 3階築後20年 4,300㎡	該 当	な し	賃借権	10年	川崎市宮前区△町 宮前 四郎	△丁目△-△	60	300

土地とともに建物等の権利も移転した場合は、種類(住宅、工場等)、概要(構造、床面積)、権利関係について記載してください。(特になければ「該当なし」)

土地とともに工作物(建物)等の権利を移転した場合で、その工作物(建物)等の権利移転後も引き続き存在することとなる所有権以外の権利(賃借権・抵当権等)がある場合に限り、その権利名・権利者の住所・氏名を記載してください。(特になければ「該当なし」)

「土地に存する工作物等に関する事項」に、土地とともに権利を移転した工作物の概要等を記入した場合は、必ず、「工作物等に関する対価の額等」に、その工作物の対価を記入

○単一の契約の場合は、「単独の土地」をチェックしてください。  
○同一の事業計画のもとで一体的に利用するために、複数の契約により合計で2,000㎡以上の土地を取得したときは、それぞれの届出書の「一団の土地」にチェックをしてください。

移動又は設定に係る権利の	内容に関する事項の	番号	移転又は設定の態様	地上権又は賃借権の場合				特記事項	土地の一団性 <input checked="" type="checkbox"/> 単独の土地 <input type="checkbox"/> 一団の土地
				存続期間	残存期間	堅固・非堅固の別	地代 (年額・円)		
		1 2 3	賃借権売買	10年	20年	堅固		地主承諾済	

面積が最も大きい地目を記載してください。

土地とともに工作物(建物)等の権利を移転した場合に限り、その工作物(建物)等の価格を、消費税込みで記載してください。(移転した場合で、対価がない場合は「0」円と記載)

対価の額等に関する事項	番号	土地に関する地目(現況)	土地に関する対価の額等		対価の額等		工作物等に関する対価の額等				
			面積(㎡)	単価(円/㎡)	対価の額(円)	種類	対価の額(円)				
	1	宅地	1946695	126760	2,467,635,960	住宅					0
	2										
	3										
実測	<input type="checkbox"/> 有		計(a)	平均((b)÷(a))	計(b)						
清算	<input checked="" type="checkbox"/> 無		1946695	126760	2467635960						0

○対価の額÷面積を記載してください。  
○単価の端数(1円未満)は切り捨て

実測による面積の増減により、対価の総額を清算(変更)する場合に「有」、清算しない場合には、「無」にチェックしてください。

契約面積を記載してください。

○利用目的(住宅、工場等)や事業計画等を詳しく記載してください。  
○住宅にあつては、住宅の建築予定戸数も記載してください。  
○現況のまま利用する場合は「現況利用(〇〇)」としてください。

届出地の町名(〇〇町〇丁目)まで記載ください。

土地の利用目的に関する事項	用途等	物品販売店舗、飲食店、ホテル 延面積 40,000㎡				利用の現況の変更 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	※(記入しないでください。)  ○住宅の場合は想定人口 ○工場・事務所は従業員数 ○商業施設の場合は1日の集客予想人数等を記載してください。
	利用目的に係る土地の所在	川崎区 〇〇町〇丁目周辺		利用目的に係る土地の面積	1946695		
	利用計画の概要	人工面率	100 → 100 %	計画人口	10,000 人 ( 人/戸 )		
	その他	賃借権(借地権)割合60%、底地権割合40%					
その他参考となるべき事項							

○単独の土地の場合は、契約面積を記入してください。  
○一団の土地の場合は、事業計画全体の土地の面積を記載してください。

届出の土地について、人工的に整備された土地の割合を現況→計画(現況が樹林地、水辺地、岩石地など以外の土地で、住宅などを建築される場合は、100%→100%)を記載してください。

○賃借権(借地権)及び底地権の権利割合を記載  
○一団の土地で従前に届出があつた場合には、「受付日(元号〇年〇月〇日)・受理番号(第〇〇号)」と記載